

Title	一七八四年の総選挙に就て
Sub Title	
Author	田中, 萃一郎
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1917
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.11, No.8 (1917. 8) ,p.1065(77)- 1078(90)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	雑録
Genre	Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19170801-0077">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19170801-0077</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.



ト派の候補者は敗北して居るのである。曾て William Thomas Laprade 氏は當時の史實を研究して『米國史學雜誌』第十八編の第二號に『ウイリヤム・ピットとウエストミンスター』の選舉』と題する一篇を寄せ、更に去る四月『英國史學雜誌』第三十一編第二號で『輿論と一七八四年の總選舉』と題する論文を發表して居る。この兩編を通讀すると前々世紀に於ける英國政界の事情は判然と眼前に映するが如く思はるるのである。

二

第十八世紀後半の英國政界の分野は大體前半から繼續してトリーリイ黨とホウイグ黨とに分れトリーリイ黨の首領ノース卿はジョージ三世の覺も目出度く一七七〇年の一月以來多年首相の要地を占めて居つた。然るに米國十三州の植民地獨立舉兵に對する措置宜しきを得ず、英將コーンウォリス降參の報本國に達して世論囂々たるに至つたが爲一七八二年の三月遂に辭職する

となつた。之に代つたのはロッキンガム侯を首相とせるホウイグ黨の内閣であつたが、ジョージ三世の信任厚く而も政治上の陰謀を好める大法官サーロー卿留任し更に政界の一角に據れるチャサム派の首領シエルバーン卿も入閣したが爲、内閣の統一を維持すると容易ならず聽てロッキンガム侯病死して同年七月シエルバーン卿が後任となつたので外相フォックスを始めホウイグ黨出身の大員は相率いて辭職し内閣は所謂親政派キングスフレンドとチャサム派とのみを以て組織するとなり少壯のピットはチャサム派の有力者として初めて入閣したのである。聽て在野の兩大政治家たるノースとフォックスとは相提携して政府に當り大權限定を標榜して立つたのでシエルバーン卿の手腕力量遂に之に敵せず一七八三年の春に至て内閣を投げ出して仕舞つたジョージ三世は如何にかして小ピットを説いて之が後任者たらしめんとしたが小ピットには

未だ難局に立つの自信なく大命を拜辭したのでそこでポートランド公を首相としてノース卿を内相フォックスを外相とせるトリーリイ、ホウイグ兩黨の聯立内閣が出来た、即ち一七八三年四月のとで勿論之が實權はフォックスに歸して居つたのである。

倫敦の記録館に保管さる、チャサム文書に依るとピットは一七八三年の二月二十五日に母に寄せた信書のうちに the great article to decide by seems that of numbers と打明けて居る、議會に多數が制し得らるゝならとの意味で、二十四歳のこの少壯政治家には既に米國獨立以後の英國政界の難局に當るの抱負があつたのである。それより恰かも一ヶ月を隔て、ピットはジョージ三世に上奏して『現在の事情と昨日庶民院に於ける形勢とに就て熟慮を遂げ候處到底その任に堪え難く候』とて大命を拜辭して居るのである。併し Drapmore Papers 等に據れば其

以後兩三月間ピットは從兄テムブル卿と共にジョージ三世の意を迎へて政府顛覆の陰謀を廻らして居つたのである。八月になつてからピットは親友ウイ爾バークフォースと共に大陸に小旅行を試みて政界に野心なきの狀を裝ふたが、秋季の議會にフォックスが東印度會社改革法案を提出して大多數を以て庶民院を通過せしめたのでピットを用ひて聯立内閣を仆さんとせるジョージ三世は東印度會社と云ふ有力な味方を得られたのである。茲に於てかピットとテムブル卿とを領袖とせるチャサム派とチアルス・ジェンキンソンを首領とし前大法官サーロウ卿を顧問とせる親政派と社長ジョンストーン理事リチャード・アトキンソンとに依て代表された東印度會社との結託成り、その結果貴族院は庶民院通過の東印度會社改革法案を否決しジョージ三世は直ちにノース、フォックスの聯立内閣を免職してピットをして内閣を組織せしめたので、

而して翌年三月二十五日に至てピットは反對派の議員の過半数を制せる庶民院を解散したのである。

ノース卿の内閣當時に政府の銓衡長官であつて、ジョージ三世の親任厚くシモンキンソンやアトキンソンをも親しく交はつて居つたシモン・ロビンソンの政治書信集の摘要は『史料委員會第十回報告附録第六篇アズガベニー侯爵家文書之部』に收めてあるが、是に據ると當時の政界の事情は手に執て見るやうである。このロビンソンが東印度會社改革法案のことありしよりピット派となつたので一七八四年の二月二十七日にノース卿の之に寄せた書信には I do not desire any explanation of your conduct. You say that you had to choose between being my friend and my enemy, and you have chosen the latter course. Your option has necessarily determined mine. とありて、而も摘要は之に註してこの書

信には冒頭に Dear Robinson と署せずして Sir と改まつて書してあると記して居る。而して同月三十一日附の之に對する答書の草案には I must draw to your recollection the line which you laid down for me to follow when you went out of office, which was to inform, to assist, and to support his Majesty's Government, in whose hands soever it was, as far as it could be done with propriety and consistency. とあるのピット卿も之を讀んだ時には定めし苦笑したことであらう。扱東印度會社理事アトキンソンが一七八三年の十二月十二日にロビンソンに寄せた書信の(10) He has written to Lord Gower to come to Town, and has given authority to say (when it shall be necessary) that whoever votes in the House of Lords for the India Bill is not his friend. This however is, as I understand, to be kept secret some days とあるが是即ち聯立

内閣反對派の貴族院に據て内閣を仆さんと熱心運動中のことで、この秘密も忽ちにして暴露したと見え、庶民院は貴族院が東印度會社改革法案を否決した十二月十七日に八十票に對する百五十三票の多数で議會懸案中の問題に關し投票を動かさんとして國王の意見を傳播するは大罪なりと決議するに至つた。親政派の首領シモンキンソンが十二月十三日にロビンソンに寄せた書信には I had learnt of Lord G[ower] that all that frequently opened at the Post Office I dare not write particulars. This is a bold measure, but things are in the hands of men of resolution. とある。政争激甚なる時には信書の秘密も保たれ無かつたので、而して此處に敢爲斷行の人物とあるは聯立内閣を仆さんとせるピット等の所謂陰謀團であることは申す迄も無い。かく激烈な運動が行れた後貴族院では出席議員のみでは十

八票、代理投票を加へれば十六票の多数で東印度會社改革法案の委員附託を否決したのである(アトキンソンよりロビンソン宛書狀)。このロビンソンの政治書信集摘要にはなほ面白い事實もあるが『史料調査委員會報告』は義塾圖書館に所藏してあるから之を割愛して置く。

三

ラプレード氏の穿て居るが如くフォックス、ノースの聯合軍は内閣を仆して置いてから總選舉に訴へねばならなかつたのである。在野黨の領袖が解散に反對したのは方略を過つたものであるとの説もあるが、反對派の在職中に總選舉の避け得らるゝの之に賛成を表するは政治上の技倆の缺點を暴露するものである。この點に於ても日本の政界の現状は前々世紀の英國とさまでの相違なく、解散逼迫すと見る時は在野黨の議員のうち政府に款を通ずるものが現はるゝのでピットは一七八四年の議會解散前には既

に著るしく庶民院に於ける地位を改善し得たのである。但し同年の總選舉に殊にピットの成功を助けたのは一七七四年八十年兩度の總選舉に際しノース内閣の爲に選舉委員長の任に當り補缺選舉にも必ず關係して居つた前記のロビンソンである。ロビンソンは各選舉區に就て現代議士の果してピット内閣に賛成す可や否やを調査し次で總選舉に於て如何に議員の所屬別を變更せしめ得可きやを算出して居るが各選舉區毎に勢力家の姓名を擧げて之を動すの方法をも註記してある。右の調査表もアヴガヅエー侯の所藏に係り其謄本はラブレード氏の手許に在ることである。之に據ると五百五十八人の議員のうちピット内閣賛成者は百四十九人で賛成者となり得可き見込あるもの百四人、フォックス、ノース聯合派二百三十一人その同志と見做す可きもの七十四人の計算であるが、若しピット内閣の下に總選舉を行はざれば二百五十五人の與黨の

外に更に百十六人の賛成者を得可く反對者は百二十三人で所屬不明のもの六十四人となる可しとの計算であつた。

ロビンソンが更に以上の覺書の附録として調製したらしく思はるゝものには選舉區を分て第一同志の選舉區、第二富豪の左右せる選舉區、第三買収す可きもの、第四ピット氏等の盡力を要するもの、第五反對選舉區、第六買収の見込あるもの、五種と爲し之に説明を加へてある。更にピット内閣愈よ成立の曉にロビンソンが他の策士と協議を遂げて起草した覺書には四十二人の議員を同志の選舉區より擧げ得可しと計算してある。そのうち一人で九人の議員を出し得るサー・ジエームズ・ロウザーは功を以て伯爵を授けられ、オールド・セーラムの二人を指名し得るトーマス・ピットは貴族に擧げられた。その他ラットランド公、テムプル卿、コーンウオリス卿ウエイマス卿等は何れも官職を以て酬めら

れたのである。六十九人の議員は第二種に屬し何等かの方法に依て味方とし得可きものと云ふのでエドワード・エリオットの左右し得る七人に就てはロビンソンは壹萬磅を要す可きかと註記しあれどエリオットに伯爵を授けたピットは著るしくこの買収費を節約し得たであらう。フォーマス卿の擧げ得る三人には九千磅、サー・フランシス・バセットの五人には壹萬貳千磅を要す可しと計上してあつてその他官職利權等を與ふ可しとしてあるのも見ゆるがこの第二種は合計四萬壹千磅を充てゝある。第三種は簡單に買収す可きものとあつて選舉區毎に一々金額を掲げてある。二人の代議士を出せるウエンドーグーには七千磅と豫定してあるが、ピットの運動員は從來この選舉區を左右し來つたヴェルネー伯に交渉せず直接選舉人と示談して豫算よりも壹千磅節約したと云ふ逸話が有る。例のオールドフィールドの英國代議制度史に政府の運動員

がウエンドーグーに赴いた時百人に足らぬ選舉人が市外一哩程の處まで出迎へて何處から來れる客人にやと尋ねたので『月の世界から』と答へた處、選舉人は更に『月の世界から何か便りがありますか』と問ふた、そこで運動員は茲に六千磅を携帶して居るが諸君に之を配分しやうと云ふて示談が出来たと記してある。マウント・エヂカム卿の左右せる六人に對しては過去の經驗上壹萬八千磅を要す可しとあつて、ロビンソンは第三種に對する買収費の豫算を拾壹萬七千五百磅を下らずと見込んで居る。第四種の選舉區は買収費の必要は無いが之を左右せる貴族に對して重要問題を諮らねばならぬのである。二人の議員を動せるグラフトン公三人の議員を左右せるスペンサー卿等が此種の待遇を好むので議員の數は合計二十七人となる。第五種の選舉區は買収の見込あるもので、トトンスの三千磅、イルチエスタの二千五百磅、スタック、ブリヂの

二人の六千磅を始として議員十七人買収費參萬五千磅餘の計算である。故に第二、第三、第五の三種合計百三十七人に對して拾九萬三千磅の運動費を要するので、而も是は下に詳述す可きウエストミンスター市を除外した英國の市部に就ての計算であつて此外英國の郡部並に蘇格蘭威爾斯の選舉區全部を加へ更に政府黨の同志の費す所を合算する時は決して貳拾萬磅を下らぬのである。議會解散の翌日『モーニング・クロニクル』紙には選舉競争は五拾萬磅に達せずとも貳拾五萬磅以上を少くとも費すことになる可しと論じてあつたが決して失當の豫測では無かつたのである。

扱てこの多額の選舉費用は如何にして調達されたかと云ふに、貴族のうちには或は買収費減額の交渉に應じたものもあり又或は親から運動費の一部を負擔して政府の爲に努力したものであるので一七八四年の總選舉後六箇月内に貴族

の新叙昇格は合計十七件に達して居る。何れも選舉戰の論功行賞である。併し稀には行賞に漏れたものもある。例へばピットの内閣組織に際し援助を要められたサー・ジョン・アウブリの如きは寧ろ貴族たらんことを欲したのであるが容易にその宿望が達せられぬので一七八九年になつて遂に憤然政府に於ける地位を擲つたのである。東印度會社の重役等が運動費を支出したのは勿論のことと正確に數字を知ることとは出來ぬがロビンソンの覺書にはピット内閣の銓衡長官ジョージ・ローズの名よりも會社のアトキンソンの名が多く引合に出居るので明白である。

選舉費用の大部分は勿論政府から支出するのであるが官吏その他からは強制的に寄附金を募集するので一七八八年のウエストミンスターの選舉には政府黨の候補者を援助するが爲政府部内からも二百磅を最高額として寄附金を募集し總額貳萬磅を得たとのことである。但し一七八四

年の總選舉に於ても寄附金は相當に徴收されたであらうが、當時政府の機密費は年額壹萬磅であつたのに解散後年末までにローズ署名のピット宛の受取書の運動費に關係ありと認めらるゝものは金額合計壹萬五千磅に上つて居る。國王が貴族から上納する地租や植民地からの収入を選舉費用に投じたのは最早過去のこととなつたがジョージ三世は毎月例として貳千磅宛節約されて之をロビンソンに交附せられたのである。

一七八〇年の總選舉の時にはジョージ三世はノース卿とロビンソンとの借入金を辦償さるゝ爲ドラマモンド銀行から四萬磅を借用されたともあつたので或はかゝる窮策をも執られたかも知れぬ。大英博物館増加文書三七八三六號に依ればピットが一七八四年の三月三十一日に國王から五千磅を受取つたことがあるのであるは選舉費用と見て差支あるまい。且又運動費の負債

は容易に償却せられぬのが例で殊に落選の場合には決して返済され無かつたのである。例へば一七八八年のウエストミンスターの選舉に際しピットの切なる依頼により政府黨の候補者フッド卿の會計事務を擔當したジョン・フローストは一七九六年になつて當時立替へた運動費の辦償請求の爲訴訟を提起して居る。一七八四年の總選舉に東印度會社のアトキンソンに勸められてウエストスターから候補に立つたサミュエル・スミスは政府黨の熱心な運動員に對して國庫から貳萬磅までは補助を受ける約束であると公言して居る。尤も前回反對派に聲援した地方の有力家が態度を一變して無競争となつたが爲、事實この國庫補助の必要は無かつたことであるが兎に角上記の事實に照して見ると一七八四年の總選舉の結果が英國の輿論を表現し得たとは云ひ得られぬのである。

四

一八三二年の選舉法改正以前に於て選舉人の數の比較的によくして先づ輿論の指數を見做し得可きは郡部ではヨークシア市部ではウエストンミスターのみであつた。ヨークシアの大選舉區で競争が行はれたならば或は世襲不動産所有者の輿論を知ることが出来たかも知れぬが、前回の總選舉後にホウイッグ黨の領袖であつたロッキンガム侯とサー・ジョージ・セーザイルとが共に故人と爲り、且又チャサム派が相率ゐて分離したが爲、ホウイッグ黨の未熟な領袖等は競争場裡に角逐するの勇氣なくウイルバークフォースとダンカムとを無競争で選出した。然るにウエストミンスター市には激烈な競争が行はれ而して同市では市費を納むるものは總て選舉權を有して居つたのでこの競争の結果は民意を卜するものと見ても差支無いのである。但し同市でもホウイッグ黨は二人の代議士を争ふの意氣なく政府黨の前代議士フッド卿の候補には反對せ

ず全力を傾倒して黨の首領フォックスの再選を期したので、政府はサー・セシル・レーを候補者に推しピットの義兄マホン卿が參謀長となつて之に對抗した。但しウエストミンスター市が第十八世紀の當時英國の選舉區中最も民主的であつたと云ふてもその競争の實際は毫も民主政治の信用を高むる所以では無かつた。投票場は假りにカヴェント・ガートンに設けられ、投票の行はるゝ四十日の間雙方共に無賴漢を雇ひ政府黨では之を水兵に變裝させて投票場附近の取締を爲すが如き狀を装ひつゝフォックスに投票せんとする選舉人を威嚇し在野黨は愛蘭出身の興丁を雇ふて之に應ずると云ふ始末であつた。兩派の衝突は絶えず其極死傷者をも出したと傳へられて居る。ジョージ三世と雖も決して超然として居られず禁軍の將士二百八十人が隊伍を組んで堂々と投票場に練り込み一齊にレーに投票したので、勿論不法とは云ひ得ぬが、ホレー

ス・ウオルポールは之を評して父と雖もかゝる無遠慮なる態度に出でしことは無之候と云ふて居る。宮中の侍従の一人には投票の際式部官からレーに投票せねば免職するぞと申渡されたこと明言したものとさへある。之に對してホウイッグ黨では皇太子の援助の外には只管フォックスの人望を恃にしたので、名優ガリーリックの未亡人と共にピット派の爲に運動したハンナ・モリアの書信に『過日途上にて戸別訪問中のフォックスに偶然會合致し候は主義の爲不幸の至に存候氏は如何にも物の分りたる愉快氣の人物にて他に眼光を外さずば籠絡せられ候事と存候』と見えて居る。政府黨は新聞の記事に引札の漫畫にフォックスは博徒である道樂者であるとして盛に人身攻撃を加へたが、フォックスは破産の窮境にあることを是認し運動費はすべて友人の厚意の寄附に依ると公言して居た。ポートランド、デヴォンシアの兩家は最も熱心にフォックスに

聲援を與へたので、ハントの『英國政治史』にも美人の譽高きデヴォンシア公爵夫人の接吻で肉屋の亭主がフォックスに投票したとの風説を掲げて居る。是は當時の三文文士の落首に

The girl condemn'd to walk the streets,  
And pick each blackguard up she meets.  
And get him in her clutches;  
Has lost her trade—for they despise  
Her wanton airs, her leering eyes—  
Now they can kiss a Duchess.

とあるのに據たもので無根の事實と思はれるが侯爵夫人が織手馬車を驅て選舉人を投票場に案内したことはあるのである。是に對して政府黨の爲に一臂の勞を與へたのはニューカースル、ノーサムバールランド兩公爵家であつた。

扱この際兩派が果して幾許の運動費を要したかは明瞭で無いが、選舉費用の常として長らく勘定の濟まぬものもあつたらしい。例へば一七

八九年になつてチャルス・ペラムはフォックスの運動費の不足額千五百磅の醸出を請求して居るのである。且又選舉後約一年間に亘つて投票審査を行つた費用のみでも兩黨各、壹萬八千磅以上參萬磅を要して居る。當時は公然新聞に廣告してまで運動費の寄附を募集したものであつた。レーの選舉費用がピットの手から出たのは明白なことで、一七九〇年になつてレーがピットに手紙を寄せて當時の運動員ジャクソンが寄附者の爲に數千磅を節約したことやジャクソン夫人が機敏に振舞ふて選舉關係文書を處分したことを訴へた時、ピットは五箇年間同夫人に年金を給與することにした。國庫から當時幾許の支出をしたかは判然せぬが、上文にピットが國王から五千磅を受領したと云ふたその翌日即ち四月一日からウエストミンスターへの投票が開始されたのである。投票中四十日間居酒屋は公開せられて居るので之に對する賠償は巨額に達

し、水夫と興丁とは飲食の外に一日五志の日當を給し、新聞の社主にも記者にも報酬を拂はねばならず、運動員や參謀に對する手當もあり運動費の總計は意外の額に上つたこと、思はるゝのである。

五

このウエストミンスターの選舉に際して論争點となつたのは何であるかと云ふに、フォックスの主張は一七八四年の二月十四日に屋外演説で述べた通りで

「目下の論點は貴族院と宮中の勢力とは庶民院を壓倒してその存在を無効に歸せしむ可きや、將た又諸君の選出したる庶民院はその權能を揮て人民の特權を維持し自由を擁護し諸君の選出に由らざる貴族院の非立憲的行爲を抑制し、且又我國の選舉人の自由を侵害して憚らざる皇室の大權を取締る可きやと云ふのである」

レー派は之に對して議會を改革す可しとのフォックスの主張に賛成しつゝフォックスが多年反對黨たりしノースと結託したることを攻撃し

て餘力を剩さず、東印度會社改革法案は民意の好まざる處なるが故國王と貴族院とが之が成立に反對して新議會まで同意を表することを拒まれたのは正當であると論駁したのである。局外から觀察すればフォックスの主張が遙かに議會政治の精神に叶ふたもので、而して投票の結果は五九九八票に對する六二三四票の多數を以てフォックスは立派にレーを破つたのである。

然るにピットはウエストミンスターに於て政黨の敗北せるを遺憾に思ひ如何にもしてフォックスの選出を妨げやうとし、四月十五日に禁軍一團の投票の結果でレーがなほ多數を占めて居つたが形勢漸く一變せんとするを察して投票審査請求の意志を公表した。而して五月一日にジョージ三世はピットに宸翰を賜はつて請求さへあらば投票審査を行はしむ可しとの許可があつて投票管理長コルベットは投票閉鎖に際して當選者を定めず投票審査中であると報告した

爲に一七八四年の五月十八日に新議會の召集せられた際にはウエストミンスターからは代議士を出すことが出来なだったので、後に大法官エルドンとし知られたトリーパーのサー・ジョン・スコットの如きも痛くピットの措置を攻撃した。實に某議員の指摘せるが如くコーンウォールの投票管理長がコルベットの如き不法行爲を敢てせば四十人の議員の出席を停止したことになるのである。フォックスは早速サー・トーマス・ダングラスの好意でカークウォールから選まれて議場に入り在野黨院内總理の席に就いたが、ピットは多數の與黨を恃んで直にウエストミンスター選出の代議士を報告せしむ可しとの動議を否決し、ホイッグ黨の請願採擇を拒み投票審査を續行せしめたが一七八五年三月四日に至てピットは遂に三十八票の差を以て議場に破れたので、コルベットは爰に初めて投票審査の結果を報告したがフォックスは遂に五八九五票に對す



る六一二六票の多数でレーを破つてウエストミンスター<sup>の</sup>の代議士と確定したのである。ピットは何故にこの選舉に重きを置いたかと云ふにラプレード氏の説明の如く、當時ピットとフォックスとは政界の兩雄で到底並び立ち難く、而してピットはフォックスを以て民意に背馳するものであると評したので、輿論の指數を目的としてウエストミンスターの選舉に於ける敗北を忍ぶことが出来無かつたのである。さればこそ一七八八年にフォッド卿の海軍省に入て信任を選舉區に求むることとなつた際の如き飽くまで任官の事情を秘密に附して居つたのである。然るにホイッグ黨は直ちに壹萬五千磅の運動費を醸出しジョン・タウンシエンド卿を候補者に推し立て、フォッドを破つた。投票結了の日に政府黨の機關新聞「ザ・ウォールド」が全紙に黒枠を附して弔意を表したるが如き如何に政争の激烈であつたかを思はしめるのである。次で翌年三月兩派の間に妥協成立して各々候補者一人宛を出して無競争となすことになり、フォックスはその死するの日に至るまでウエストミンスターを代表したのである。

一七八五年に公けられた A Glean of Comfort for this Distracted Empire といふ小冊子は當時政界腐敗の狀態を罵つて

Sir Robert Walpole himself was a simpleton to this wonderful young man. There was such originality, such ingenuity, such orientality in the manner. Sources were discovered so unthought of in all former exigencies—channels of influence so mysterious and unsuspected—slices of venality so contrary to all imagining—such dexterity of seducement! such rare and refined profligacy! such polished prostitution! In a word it was the *ne plus ultra* of this admirable science.

と云ふて居るが、少壯のピットは實に老獪なウォルポール以上の手腕を具へて居つたと見ゆる而もなほ且ウエストミンスターの選舉に敗れたのは一七八四年の總選舉の結果の決して輿論を示現したもので無いことを立證するものである。實際政治の批評には皮相の觀察は慎まねばならぬ。殊に黨派心を根據とした言論に至ては一切價値の無いものである。而して後世歴史家の批評も亦必ずしも信ずるに足らぬのである。

### 佛國人口の將來(上)

阿部 秀 助

所謂「戦後の歐洲」が解決す可き問題中、人口問題は最も主要なる意義を有するものにして殊に此點より考察して興味あるを佛國の將來と云す。

今を去る約百年前「ナポレオン」一世が歐洲の覇權を握りし當時に於ける佛國は人口の點に就きては歐洲諸國中露西亞を除きては之れに匹敵するものなく、即ち現時の佛國が歐洲人口の約九「プロツェント」を出でざるに對して、十九世紀初期の同國は約十四「プロツェント」に達せしものなりとす、今、佛國に於ける人口増加の狀態を以て獨逸に比較する時は左の如し。

年 度	佛國の總人口	現時の獨逸帝國內に於ける總人口
一七〇〇	一九、六〇〇	一八、一〇〇
一七八四	二四、八〇〇	二四、八〇〇
一八〇一	二七、三〇〇	二六、三〇〇
一八三一	三二、五〇〇	二九、五〇〇
一八五六	三六、〇〇〇	三二、八〇〇
一八六六	三八、〇〇〇	三五、四〇〇
一八七二	三六、一〇〇	三七、七〇〇
一八八一	三七、六〇〇	四〇、八〇〇
一八九六	三八、五〇〇	四四、二〇〇
一九〇一	三八、九〇〇	四九、四〇〇
一九一	三九、六〇〇	五六、三〇〇

以上の表によれば、佛國は千八百一年に二千七百三十萬に對して千九百十一年には三千九百六十萬となりし結果、差引千二百三十萬増加せるに對して、同時期間に於ける獨逸は二千四百八十萬より六千七百萬となり、差引増加三千二百二十萬、更に他の言を以てする時は獨逸は十九世紀を通じて其人口に於て約三倍する結果を現